

シンポジウム

大学の『ミッション経営』を考える

海凶なき

大学経営に

未来はあるか

エデュース

学校経営研究所

シンポジウムのご案内

主催:エデュース学校経営研究所
後援:大学マネジメント研究会

【講師】

松坂 浩史 氏 文部科学省 大臣官房 文部科学広報官
西井 泰彦 氏 私学高等教育研究所 主幹 /元 学校法人京都学園 理事長

【パネルディスカッション：パネリスト】

川原 俊明 氏 学校法人追手門学院 理事長
渡辺 孝 氏 学校法人文教大学学園 理事長
阪倉 篤秀 氏 学校法人関西学院 常任理事 / 関西学院大学 副学長

【コーディネーター】

本間 政雄 エデュース学校経営研究所 特別首席研究員

2015年

日時

7月9日 (木) 13:00~17:00

開場 12:30 / 情報交換会(会費制) 17:00 ~

会場

中央大学駿河台記念館 2階 281号室
(アクセス: JR中央線「御茶ノ水駅」徒歩3分)

費用

参加無料
(申込制: 定員90名)

※情報交換会は会費制となります。(3000円/1人・当日お支払いください。領収書をご用意します)
駿河台記念館1階 レストラン「プリオール」にて (お名刺をご準備ください)

お申込方法 | 以下のうち、いずれかの方法でお申込みください。



FAX

▶ 裏面のお申込記入欄に必要事項をご記入の上、FAXにて、お申し込みください。03-3866-3725(担当: 荻原)



WEB

▶ エデュースのHPからもお申し込みが可能です。詳しくはエデュースHPをご覧ください。

エデュース セミナー



いかなる組織といえども、目標（ビジョン）と目標実現のための明確な行程表を欠いては、海図を持たない船と同様、その前途は不安で危険に満ちたものになります。大学も同様であり、人口減少、財政難、大学間競争激化という危険な岩礁にも例えられる環境にあって、大学の達成目標を明確に定め、目標実現のための行程表と責任組織を明らかにして、教職員が目標実現のために結束してそれぞれの任務を果たしていくことが生き残りの鍵となります。

今回のシンポジウム「海図なき大学経営に未来はあるか—大学の『ミッション経営』を考える」では、中長期計画（目標・ビジョン）策定、実施、評価というサイクルを回す「ミッション経営」の意義と重要性、具体的な方法・課題について、果敢に挑戦されている大学の責任者に参集いただき、議論を展開します。なお、学校経営研究所では、本シンポジウムをキックオフとして、「ミッション経営」に関心を持つ大学関係者による「ミッション経営研究会（仮称）」を今秋からスタートさせたいと考えていますので、多くの方の参加を期待します。

第一部

『私学法の精神にみるリーダーシップと意思決定』

～ガバナンスの視点から～

講師：松坂 浩史 氏



文部科学省 大臣官房 文部科学広報官
平成6年10月文部省入省。金沢大学総務課長、高等教育局視学官、大学改革推進室長、法令審議室長等を経て、平成26年7月から現職
早稲田大学社会科学部卒、名古屋大学大学院教育発達科学研究科博士後期課程満期退学
著書に「逐条解説私立学校法」、「フランス高等教育制度の概要」など

第二部

『選ばれる学校への転換』

～学校を再生させる経営者の課題～

講師：西井 泰彦 氏



私学高等教育研究所 主幹
日本私立学校振興・共済事業団（旧日本私学振興財団）で、補助金交付、経営相談等の業務に永年従事。2009年から京都学園の理事長及び副理事長として、労使紛争解決、人事給与改善、キャンパス新設等を遂行。本年から私大協会附置の私学高等教育研究所の主幹に着任。この間、大学院で大学経営人材養成コースを担当。

第三部 パネルディスカッション

コーディネーター 本間 政雄 ศึกษุส学校経営研究所 特別首席研究員
パネリスト：川原 俊明 氏・渡辺 孝 氏・阪倉 篤秀 氏



本間 政雄 氏 ศึกษุส学校研究所特別首席研究員
1971年名古屋大学法学部卒、旧文部省入省。London School of Economics 修士。旧文部省総務審議官を経て、2001年京都大学事務局長（04年理事・副学長）、07～12年立命館副総長、立命館アジア太平洋大学副学長。13～14年関東学院常務理事。13年～梅光学院理事長。05年大学マネジメント研究会を設立、会長。



川原 俊明 氏 学校法人追手門学院 理事長
昭和23年生まれ。昭和45年早稲田大学第一法学部卒業。昭和53年弁護士登録。昭和56年川原俊明法律事務所設立。平成14年弁護士法人川原総合法律事務所を設立し、所長に就任、現在に至る。昭和59年7月より学校法人追手門学院評議員を務め、その後評議員会議長、理事を経て、平成23年7月より理事長に就任、現在に至る



渡辺 孝 氏 学校法人文教大学学園 理事長
1974年3月東大卒。同年日本銀行入行。通産省産業政策局事務官、日本銀行バリエーション事務等を経て97年5月日本銀行考査役。山口大学経済学部教授を経て2001年4月文教大学国際学部教授。学校法人文教大学学園理事（05年4月）、常務理事・副理事長を経て09年4月文教大学学園理事長就任。2013年4月再任。現在に至る。



阪倉 篤秀 氏 学校法人関西学院評議員。常任理事・副学長
1973年関西学院大学文学部史学科卒業（東洋史学専修）
1978年関西学院大学大学院文学研究科博士課程単位取得満期退学。1990年中華人民共和国南京大学專家留學（1年間）
1978年関西学院大学文学部助手。以後、助教を経て、現在、教授、大学院文学研究科博士課程後期課程指導教授。図書館副館長、文学部長、等を歴任。現在、企画室長、千里国際キャンパス長、学校法人関西学院評議員、常任理事・副学長。

ศึกษุส
eSMI 学校経営研究所
educa School Management Institute

アクセス

JR中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩3分
東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅下車、徒歩6分
東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車（B1出口）、徒歩3分
都営地下鉄新線 小川町駅下車（B5出口）、徒歩5分



ศึกษุส学校経営研究所とは…

少子高齢化、人口減少の進展により、学校の経営や組織の在り方は大きな変革が求められています。個々の学校や文部科学省による矢継ぎ早な改革施策が目目される一方、既に変化に取り残され、淘汰をむかえた学校も存在します。

しかしながら、現在の日本の財政は、変化に対応できない学校を救うほど豊かではありません。学校が教育・研究を通じた価値を社会に提供し続けるためには、個々の学校が顧客となる学生・生徒を奪い合うだけでなく、切磋琢磨を通じて顧客を創造し続ける方向に進むしか道はありません。

ศึกษุส学校経営研究所は、16の学校法人の共同出資企業として生まれた「株式会社ศึกษุส」を母体とし、さらなる学校への貢献の具体化として、設立されました。「学校経営を科学する」をモットーに、学校の進化を支える研究機関として活動を展開しています。

ศึกษุส学校経営研究所
シンポジウム

参加申込書

FAX: 03-3866-3725
ศึกษุส学校経営研究所 宛

法人名（学校名）

ご連絡担当者名

TEL

役職
ご芳名

情報交換会

参加・不参加

E-mail

役職
ご芳名

情報交換会

参加・不参加

E-mail